



素晴らしい地域の宝物 ミツバツツジ

ミツバツツジ全般の花言葉「節制」「抑制のきいた生活」

令和3年新緑号 発行者／網代和夫 編集／あきる野市町内会・自治会連合会 広報部会

あきる野市町内会・自治会連合会

令和3年度 事業・活動計画

令和3年度における町内会・自治会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努め、人と人の絆を育み、地域の活性化と連携強化を図り、明るく住みやすい安心、安全の街づくりに貢献する。

1 各町内会・自治会に関する事

町内会・自治会の活動が活発に行われるよう、全体会、地区会長会を通じ連絡・調整を行い、情報共有化と連携の強化を図る。

2 会員相互の親睦、交流に関する事

主に、視察研修、新年会、地区会長会の懇親会等を通じて会員相互の和を育み、町内会・自治会の輪を形成する。

3 あきる野市や各種公共団体及び他関係団体との協力に関する事

あきる野市主催の行事（斉清掃花いっぱい運動、地域懇談会）への参加や防犯・交通安全、防災活動の実施等を通じ協力関係強化に努め、住みよい街づくりを推進する。

4 町内会・自治会の総合的課題に関する事

近年の少子高齢化や核家族化の進展、ネット社会の伸長による住民意識の多様化、地域への希薄化は顕著であり、年々加入世帯の減少が続く町内会・自治会活動に大きな影響が出ている。加入率のV字回復を目指し、加入促進施策や脱会抑制を図るため原因追究、対応策について調査・研究を行う。また、引き続き行政と「今後のあきる野市町内会・自治会を考える協議会」を開催し、町内会・自治会の諸課題への解決に向け積極的に取り組む。

5 広報活動に関する事

会報を年4回発行し、地域の情報を掘り起こすと共に町内会・自治会活動の啓発を図り、活性化に繋げる。

6 高齢者や障がい者等の支援に関する事

緊急時や災害時に高齢者や障がい者等を対象に、必要な援護や見守りを行う。また、救急医療情報キットの配布を行うなど、安心して生活できる取組を行う。

7 安心・安全な街づくりの推進に関する事

防災体制のあり方、住みよい街づくり等、共通の課題・問題について取り組む。特に地域の防災力を高めるため、あきる野市防災計画に基づき、防災・安心地域委員会と連携し、自主防災組織の体制整備と組織の充実を図ると共に防災リーダーの活用、地域住民の防災意識の高揚等に取り組む。災害に強い安心・安全な街づくりを推進する。

8 西多摩地区自治会・町内会連合会長会との連携に関する事

西多摩地区自治会・町内会連合会長会に加入し、共通課題への取組や優良施策の水平展開を図る。

4月23日に予定していましたが新型コロナウイルス感染拡大で中止となりました。連合会加盟81の町内会・自治会長による書面表決の結果、令和3年度事業・活動計画が上記の内容で承認されましたので全文掲載致します。

余瀝

これはある知人の心によぎった言葉への思いの聞き書きです。コロナ禍の中で国民は不安と緊張の生活を余儀なくされています。生活の潤いである旅行や外食も人が生きて行く上で必須の芸術・文化の享受もまなりません。それらを担う方々の生活も大変です。コロナ禍のために他者との交流が制限される中で己の生活や人生を凝視された方が多いのではないのでしょうか。このパンデミックを自己の中でどう位置付け、整理し納得してゆくか。的確に表現する言葉を吟味し己のものにすることが求められます。▼また、ウイルスと動物が共存している生態系に人間が無秩序に侵入し、環境を破壊したことが新型コロナウイルス感染症の原因と言われています。「持続可能な開発目標」から言えば経済効率優先ではなく自然との共生が求められます。これらを的確に表現する言葉を吟味し社会化することが大切です。▼それにしても最近、社会的に責任ある地位にいる方々の何と言葉の軽いことか。とりわけ政治家が顕著です。国民、市民に向けて品格のある高邁な言葉で己の政治理念や政策を語る政治家がどれほどいるのでしょうか。はなはだ心もとないものがあります。エスプリとユーモアを交えて己が政治哲学を語る政治家を期待したいものです。▼人間は言葉を使ってものを考え、自分の世界を作り上げ、他の存在と交流します。自分の言葉を磨き、かけがえない個の人格として、この時空間に光りあるものとして存在したいものです。

数々の“試練”を乗り越え、「わが家の防災ジャバラ」作成

・・・東秋留地区全会員とそのご家族に配布を完了いたしました・・・

東秋留地区 代表 小山 正 弘

東秋留地区では都の「地域の底力発展事業」助成金を申請し“わが家の防災ジャバラ”を作成し、会員世帯の家族全員に配布しました。

発端は、会長会で「防災パンフレット」を助成金で作成することになり、豊富な資料を所持されている雨間町内会の林田会長に原案をまとめて頂きました。原案を提案すると「だれでも持ち歩けるもの」や「ジャバラ折が見やすい」等の意見がだ



▲【説明チラシと防災ジャバラ（表と裏）】

されたので、膨大な資料を再度吟味し重要で最小限必要な事項に絞り込みました。ところが、今度は東京都から「外国人にもわからないと満額は出せない」と連絡があり、林田会長がスマホを活用して英語・中国語・韓国語等の翻訳に

悪戦苦闘していると、今度は「外国語が無くても満額可能」との連絡が入りホッとしました。しかし、それも束の間、印刷資金として予定した都助成金の入金は遅くなることを知り、慌てて市の貸付制度を申請しました。

しかし、借入金を受け取る預金口座が無く大慌てでJAに預金口座を開設した次第です。

このような紆余曲折を経て配布後に、ある会員とお会いした際、「防災ジャバラ」をポケットから取り出し「これいいよね、名前を書き込んだよ。俺達いつどこで倒れるかわかんねえもん」との言葉を聞き、この間の様々な苦勞と“試練”が報われた気がしました。



▲【「防災ジャバラ」の配布】

感染対策備品を充実し安心して活動できる会館に

多西地区 菅生町内会 会長 野 口 金 雄

皆さんこんにちは。“向こう三軒両隣、縁側の復活とみんな仲良し”を目指して活動している菅生町内会です。

菅生には明治四十二年より続く、菅生組立舞台、菅生歌舞伎をはじめ、若者のグループパル菅生会、長寿会等々多くの団体がそれぞれ活発に活動して町内を盛り上げてくださっています。

ところが昨年初めからの新型コロナウイルスの感染拡大により様々な活動が自粛を余儀なくされ中断しているのが現状です。そのような中、昨年末に東京都より「新型コロナウイルス感染拡大防止普及啓発事業助成金」の募集があり、全会員への啓発活動と会館内の安全性の確保・向上のために助成金を活用することにしました。

東京都から助成金の交付を受けて、全会員へ啓発チラシとシールを配布すると共に会館内の感染拡大リスク低減のためオゾン除菌消毒器、非接触式検知器、赤外線検温計、ハンドジェルを設置や配備しました。この対策により会員皆さんのコロナに対する意識が高まり、今まで以上の気配りをして、会館内での活動に安心して取り組めるなど町内に笑顔が戻りつつあるように思います。今回の東京都の助成制度には心より感謝しております。



▲啓発チラシ、スプレー型除菌液 配布状況



▲非接触型赤外線検温計検温状況

東京都「新型コロナウイルス感染拡大防止普及啓発事業助成金活動」について

五日市地区 留原自治会 会長 荒 井 實

新型コロナウイルス感染症が一向に収束の兆しがみえず、感染から早くも一年が過ぎました。

あきる野市においても感染者数が日々、増加の傾向を辿っております。

そんな中、昨年12月に東京都から新型コロナウイルス感染防止普及啓発事業助成金の募集があり、早速、自治会役員会を開催し助成金を応募する事になり、応募にあたって物品検討をしました。

留原自治会には、わなげクラブ、グランドゴルフクラブ、カラオケクラブがあり、クラブ活動にあたっての感染防止用品用として、パーテーション、フェイスシールド、自治会館設置用品用に非接触型体温計、非接触型消毒スプレー、パーテーション、全世帯配布用品用に携帯用消毒スプレー、除菌アルコールシートを購入しました。



▲赤外線体温計



▲パーテーション

現在、留原自治会の会員数は約305名ですが、自治会員一人ひとりが感染防止対策が出来る様、心掛けていきたいと思っております。

三ツ里地区の小和田自治会、中村自治会も同様、今回の東京都コロナウイルス助成金に応募をしました。

今年度も新型コロナウイルス感染防止対策を継続していくと思っておりますが、感染終息に向け早くこの対策が終わって平常な生活に戻ることを皆さんと一緒に願っていきましょう。

広報部会
橋本 勉

50年以上前、増戸小の始業式で新任の先生方から毎年必ず出たお話し。それは、皆さんは何と素晴らしいところでしょう。でし。目の前の山が、ミツバツツジで一面紫色だったからです。かなわぬ望みですが、あれをも一度見たいものです。地域の宝物、本当に大事なんです。ね。タイトルの背景写真は、増戸の弁天山入口です。このハイキングコースを進んで行くと、その先に素晴らしいものが待っていますよ。

編後
集記